

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の振興	所管部局名	商工観光労働部	施策コード	Ⅱ-4-(2)
	政策名	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	関係部局名	商工観光労働部、生活環境部、土木建築部	長期総合計画頁	113

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	観光人材の育成・確保	おんせん県ならではの素材磨きによるブランドイメージの確立	観光消費の増大につながるサービスや商品の開発促進	観光関連産業の持続的成長と雇用拡大
取組No.	⑤			
取組項目	景観の保全・再生とツーリズム基盤の整備			

【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 観光入込客数(千人)	①②③ ④⑤	H25	17,563	20,150	19,714	97.8%	20,150 (H30)	20,850 (R5)						
ii 観光消費額(億円)	③	H25	2,072	2,357	2,252	95.5%	2,357 (H30)	2,564 (R5)						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等		平均評価
i 概ね達成	国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭や六郷満山開山1300年を契機とした誘客と、インバウンド向けプロモーション活動など、「大分県ツーリズム戦略2015」の着実な推進に努めたことにより、目標値を概ね達成した。		概ね達成
ii 概ね達成	旅行関係者やインフルエンサーの招請事業や、プロモーション事業の実施により海外からの宿泊者数が増えるなかで、比較的消費単価の高い、中国、香港、台湾のシェアが拡充したことにより、目標値を概ね達成した。		

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいたツーリズム大学の修了生が298名となった。(H30年度新規修了生28名)
②	・姫島、豊後大野両ジオパークの活動を推進するため、看板設置やガイド養成等に対する助成を行い受入態勢の充実を図った。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、小学生向け解説冊子の製作や福岡県等でのPR活動を行った。また、エリア内の様々な分野の地域活動団体の交流を行い、自然と共生する地域振興を進めた。
③	・自転車専門誌において、大分県版の別冊を発行するなど、大分県のサイクルツーリズムのPRができる環境を整えた。 ・新たな観光体験サービスの創出や土産品の販売強化セミナーの開催等により、観光関連産業の生産性(売上高拡大、高付加価値化)向上の取組を推進した。
④	・宿泊施設の生産性の向上を図るため、県内各地域(由布、別府、日田、大分)で次期経営者や従業員等を対象とした講座を開催した。また、観光関連産業の業務効率化に向けた取組に対して支援を行った。
⑤	・国民文化祭の開催に備え、観光周遊ルート沿いを重点的に、展望台等からの眺望を阻害する樹木の伐採を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①③	観光地域磨き推進事業	63,093	A	終了	16
①	民泊の安全・安心確保事業	12,900	A	継続・見直し	126
②	おおいたジオパーク推進事業	39,409	A	継続・見直し	101
	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	17,687	A	継続・見直し	102
③	観光関連消費拡大支援事業	27,291	A	継続・見直し	154
④	サービス産業生産性向上支援事業	27,790	A	終了	153
⑤	(公)道路改良事業	17,785,480	-	-	245

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7)

・観光産業のうち、宿泊産業は産業としての力が付いていない。
・生産性向上については県の取組により動きはあるが、働き方改革に向けては、小規模な事業者にとっては現実的に非常に難しい。

○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7)

・来年の11月に日本ジオパークの全国大会が開催されるが、一つの行事で終わらせることなく、地域の産業振興、人材の確保、地域課題の解決に繋がる議論がされるとよい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・「大分県ツーリズム戦略2019」にある戦略の着実な推進に努める。 ・おおいたツーリズム大学等により観光・地域づくりを担う人材の育成を引き続き行い、来訪者満足度を高める受入基盤整備に努める。 ・大分県ならではの各地の素材磨きを実施し、体験型商品などの造成を促すことにより、観光消費額の更なる増大を目指す。 ・ラクビーワールドカップ2019の大規模イベントを契機として、観光誘客による県経済への波及効果の拡大を高めるため、付加価値向上の取組を加速する。 ・ナイトタイムエコノミーの活性化や体験型プログラムの推進を通じて、来訪者の単価向上や滞在日数の向上につなげる取組を推進する。 ・観光誘客による県経済への波及効果を高めるため、宿泊施設が実施する多様なツーリズム・旅行形態への対応力強化並びにホームページの改善に対する支援を行う。 ・日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会の成功に向け、姫島、豊後大野両ジオパークとともに地元ジオパーク関係者や小中高等学校生、商工関係者等と協働で取組を進める。 ・ユネスコエコパークの知名度向上やエリアへの誘客を図るため、ユネスコエコパークを学習し、楽しむことができるよう学術的な研究を進めるとともに、周遊ルートの設定を行う。